

# 令和3年度シラバス

理学療法士科

神戸総合医療専門学校

科目名		授業形態	担当教員名	
解剖学演習Ⅱ		演習・講義	安村 明子・前川 加奈・小林 正明	
時間数（単位数）		授業回数	年次	開講時期
30 時間（1 単位）		15 回	1 年次	前期
授業の目的・概要				
四肢、体幹の運動器系の基礎知識の修得を目的とする。 基礎知識の範囲は、①筋の名称と機能 ②神経の名称と機能、支配領域 ③主要な血管の名称と機能 ④各関節の運動方向と筋、神経の作用 である。				
授業の到達目標				
解剖学演習Ⅰの知識を使用し、①人体の主要な骨格筋の構造（起始・停止・走行・神経支配など）を知り、その作用を説明することができる。②脊髄神経の名称と機能、支配領域を列挙することができる。③人体の主要な血管の名称と機能を列挙することができる。				
授業計画				
回	内容			
1	総論 筋・神経・血管(担当：安村)			
2	各論 上肢(担当：安村)	1) 筋①		
3	各論 上肢(担当：安村)	2) 筋②		
4	各論 上肢(担当：安村)	3) 筋③		
5	各論 上肢(担当：安村)	4) 筋④		
6	各論 上肢(担当：安村)	5) 筋⑤ 神経・脈管		
7	各論 下肢(担当：小林)	1) 筋①		
8	各論 下肢(担当：小林)	2) 筋②		
9	各論 下肢(担当：小林)	3) 筋③		
10	各論 下肢(担当：小林)	4) 筋④		
11	各論 下肢(担当：小林)	5) 筋⑤ 神経・脈管		
12	各論 体幹(担当：前川)	1) 筋①		
13	各論 体幹(担当：前川)	2) 筋②		
14	各論 体幹(担当：前川)	3) 筋③		
15	各論 体幹(担当：前川)	4) 筋④ 神経・脈管		
成績の評価法と基準				
種別	割合	評価基準・その他備考		
定期試験	70%	上肢3.5割、下肢3.5割、体幹3割の比率で作成する。		
レポート				
小テスト	30%	上肢・下肢・体幹分野ごとにまとめテストを実施する。		
平常点				
その他				
自由記載				
教科書				
書名	著者・編集者名		出版社名	
プロメテウス解剖学アトラス 解剖学総論／運動器系	坂井健雄・松村讓児 監修		医学書院	
プロメテウス解剖学アトラス 頭頸部／神経解剖	坂井健雄・河田光博 監修		医学書院	
運動療法のための機能解剖学的触診技術 上肢／下肢・体幹	林典雄 著		メジカルビュー社	
自由記載				
参考文献				
書名	著者・編集者名		出版社名	
自由記載				
備考				
自己学習を積み重ね、知識の修得に努めること。				